

平成25年台風第26号 土砂災害の概要《第2版》

平成25年
10月25日
12時時点

東京都大島町における土砂災害の発生状況

東京都大島町では台風第26号の豪雨に伴い、**火山地域で発生した（流木を伴う）大規模な泥流**により甚大な被害が発生。

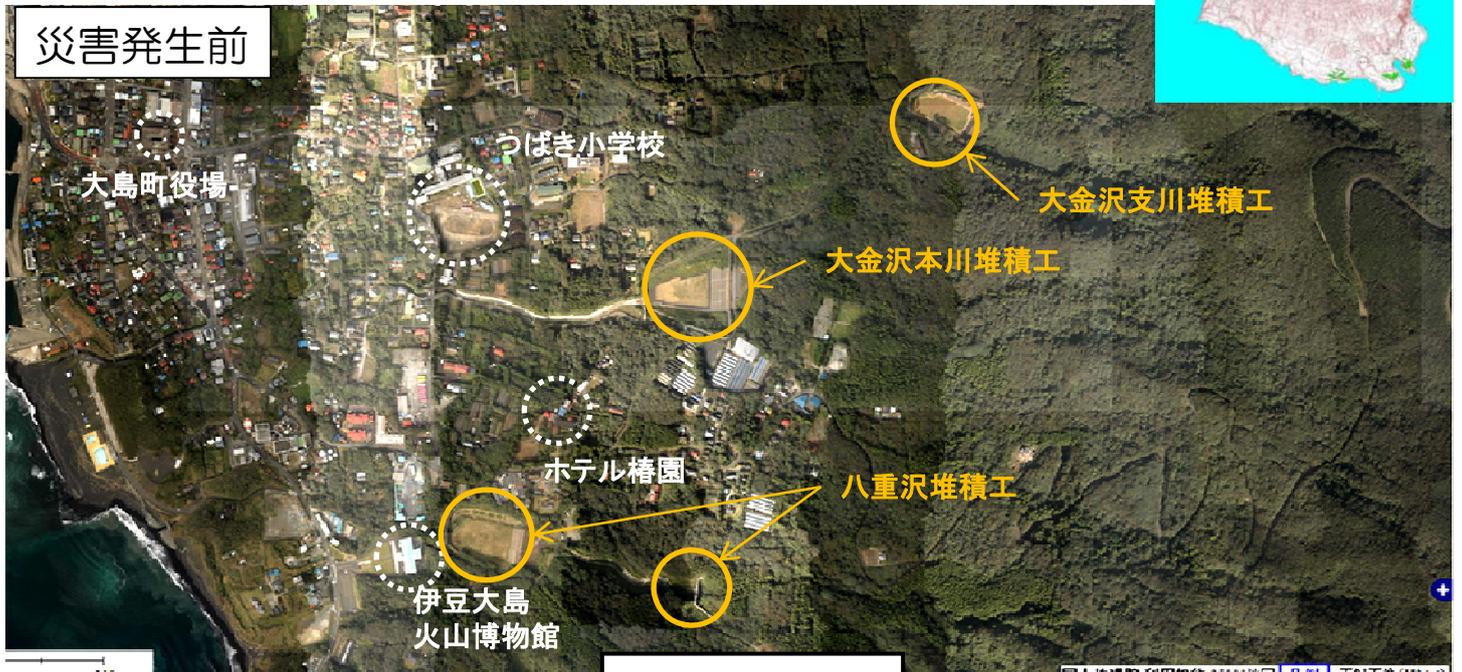
《被害概要》

死者：31名
行方不明者：13名
住家被害（全壊）30戸
10月25日 10:00現在（内閣府）

大島町



災害発生前



災害発生後



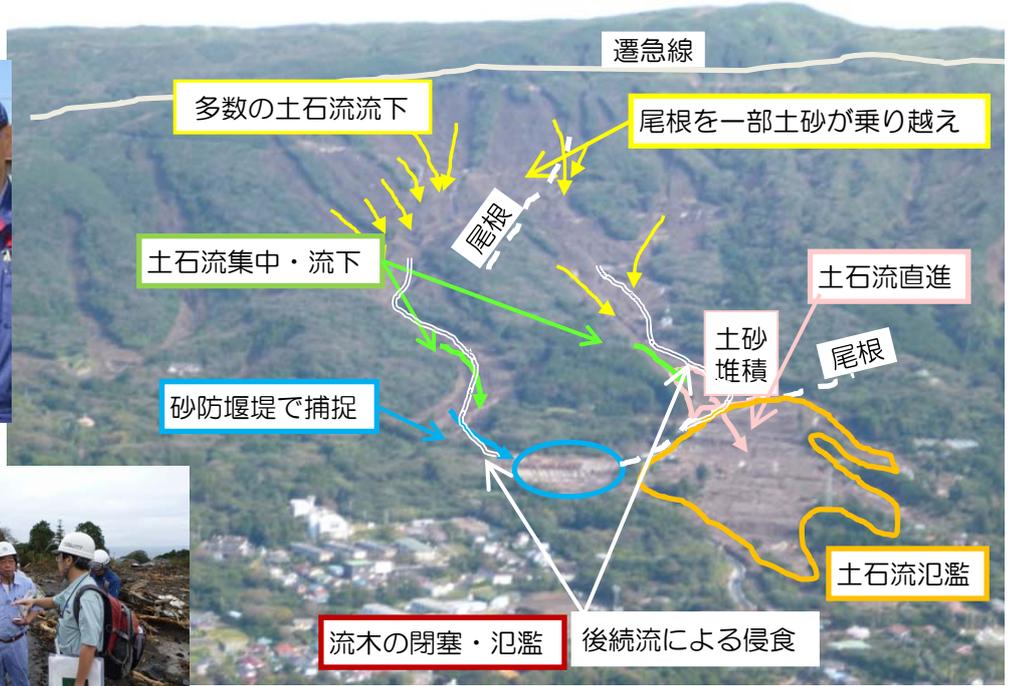
崩壊地および泥流到達範囲

土砂災害（表層崩壊）の発生過程と特徴

- 14世紀の噴火による溶岩の上に堆積した火山灰を主体とする土層が表層崩壊（崩壊深さは概ね1～2 m）が発生
- 過去に類を見ないほど狭い範囲に極めて多数の崩壊が集中。記録的な大雨が誘因となり、大量の土砂と流木が発生。



土井政務官による災害状況の把握（17日）



国土技術政策総合研究所による現地調査



土木研究所による現地調査

出典：国土技術政策総合研究所

砂防堰堤の効果発現

伊豆大島島内では表層崩壊が多数発生し、土石流と土砂の流下が確認されたが、島内に整備された砂防設備は被害の拡大を防止



ながさわほんせんたいせきこう
①長沢本川堆積工



おおかなざわしせんたいせきこう
②大金沢支川堆積工



やえ さわたいせきこう
③八重沢堆積工



土砂災害危険箇所の緊急点検結果

- 二次災害を防止するため、早急に人命等に影響を及ぼす恐れのある土砂災害危険箇所等の緊急点検を実施
- 大島町へ調査結果を報告し、報告結果に基づき大島町は避難勧告対象エリアの抽出に活用



太田国交相によるTEC-FORCEへの調査指示(19日)

【緊急点検】
10班約40名で10月17日～22日にかけて、点検を完了し、点検結果を大島町へ報告



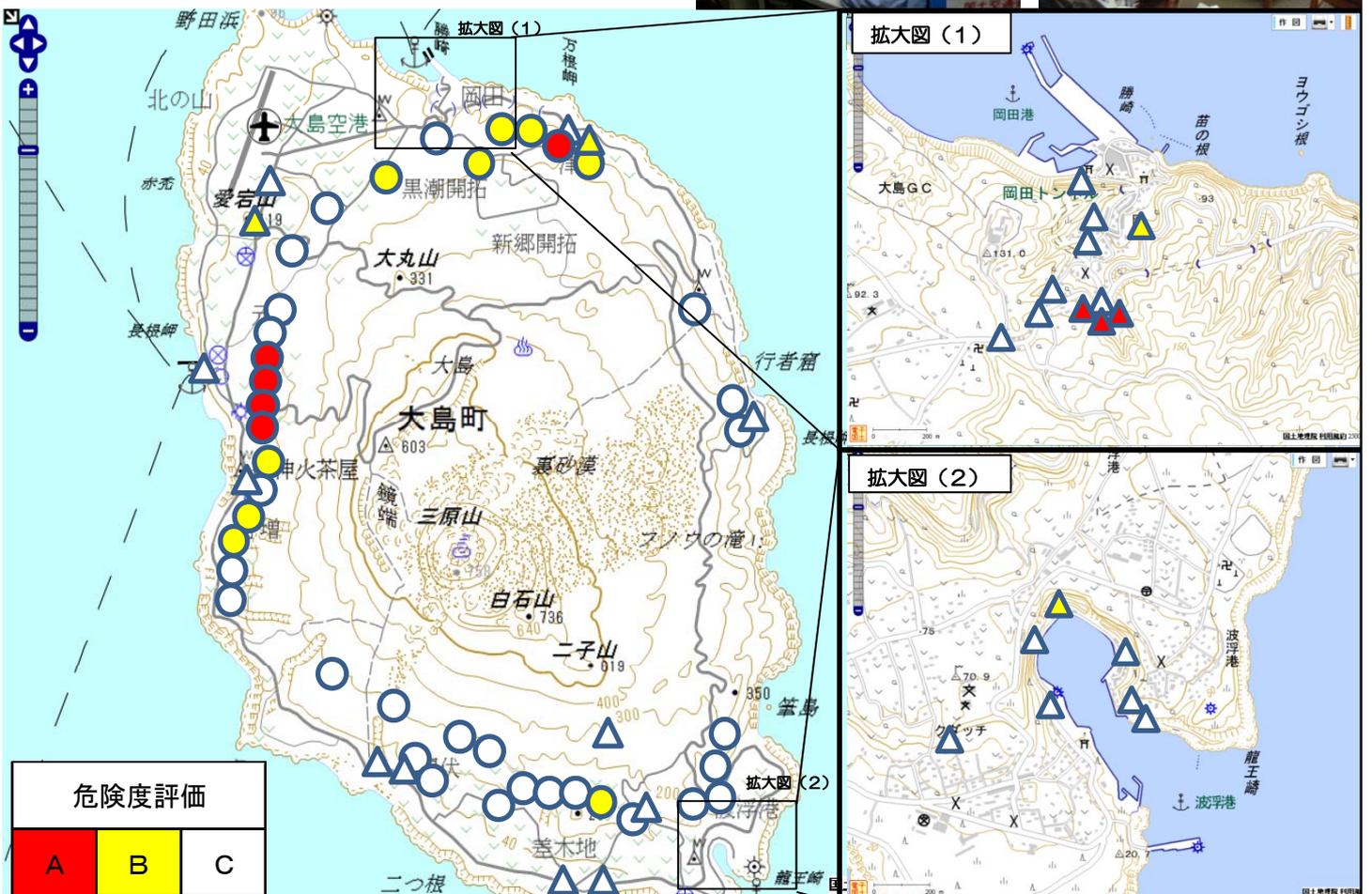
現地調査状況



調査結果の取りまとめ



調査結果の報告状況



- A: 緊急避難体制を確保するとともに緊急的な対応が必要
- B: 当面は警戒避難体制を強化するものとし、状況確認の上で、必要に応じ対応が必要
- C: 特に変化はなく緊急度は低いが、降雨状況によっては注意を要するもの

搜索活動・住民避難に備えた安全確認支援

降雨による地盤の緩み等により、搜索活動の再開に支障を及ぼす恐れがあったため、TEC-FORCEの技術的指導に基づき、搜索開始前に関係機関と点検を実施。

降雨による土砂災害に備え、避難場所の土砂災害に対する危険性を点検し、必要な助言を実施。

10月19日～20日の降雨により中止していた搜索の再開前に搜索範囲において、新たな崩壊の有無や地盤の緩み等による危険性を点検（10月21日）



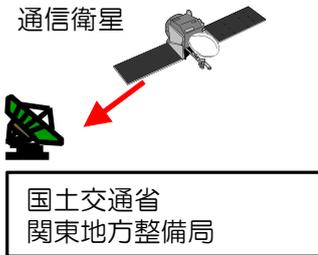
TEC-FORCEによる搜索開始の是非の判断

搜索活動の再開

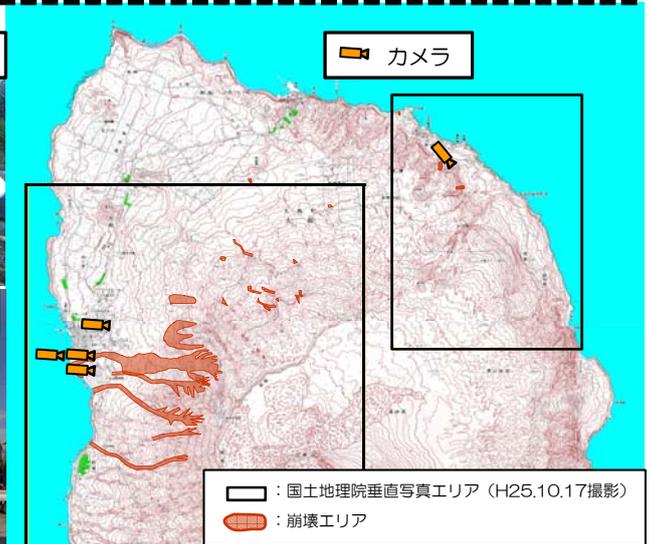
監視カメラによる警戒避難体制の支援

現地にカメラの設置、通信衛星を活用した監視体制の構築を行い、二次災害の発生に備えた警戒避難体制を支援（18日12:30より映像提供開始後、随時強化）

通信衛星



東京都庁



—お知らせ—



土砂災害は予測の難しい災害ですが、土砂災害から身を守るために国民の皆様
に知っていただきたい3つのことについて、以下のURLでお知らせしております。

<http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

砂防部関係施策の詳しい内容については、以下ホームページでご覧になれます。

国土交通省 <http://www.mlit.go.jp/>

国土交通省砂防部 <http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sabo/index.html>

問い合わせ先 国土交通省水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 企画係